

# 思いやりのあるまち

五、一五二人の四％で推計すると、寝たきり老人の数は、二百人程度に達するものと予想されます。

## 痴呆性老人の状況

本市における痴呆性老人の状況については、これまで正確な実態把握がされていない中で、昭和六十一年に道で実施した「高齢者の生活と健康に関する実態調査」に基づき年齢区分別の出現率で推計すると、介護を必要とする痴呆性老人の数は、昭和六十年で百七人、平成九年には、百八十一人に増加すると予想されます。

## 計画の推進は、三本柱で

これらの現状を把握して同

計画では、高齢化社会への対応策を検討しています。

### ①生活基盤の整備

#### ・就労対策の推進

高齢化社会の到来と経済の安定成長のなかで、高齢者の体力や健康状態が向上したことから、就業の機会を求めめる高齢者が増加している現状でも、就労の場が狭く厳しい情勢にあります。このため、

定年延長の促進をはかるとともに、地域における高齢者の就労の場の拡大を検討し、雇用安定の確保が必要になり、長年培った豊かな知識や経験能力を活かし、自主的就労の場の確立をはかるとともに、就労に対する意欲に応じた就労能力を育成し、再就職の拡大をはかることが重要です。また、高齢者の就労要求に

応じ、短期、長期的な就業を中心とした多様な就業機会を提供するための相談、斡旋を有する高齢者事業団や公共職業安定所による就業就労相談などがおこなわれていますが、

今後行政関係団体や地元企業などの協力をはかりながら、職業相談窓口の充実をはかることが重要です。

#### ・健康の増進

急速な高齢化社会が進行するなかで、老人保健対策は改善がはかられているものの、保健医療へのニーズは年々増加してきています。また、保健予防は、関係機関との一体化をはかり老人保健や健康診査の徹底に努めるとともに、

健康な老人や身体に障害をもった老人など必要に応じて検診、治療、リハビリができて

村口初子さん（沖見5）

高齢者が生きがいを持って楽しくくらす高齢化社会に、高齢者が交流できる施設がほしいですね。



るよう一貫した健康指導体制の確立が求められます。

したがって、人びとが生きがいといきいきとした生活が送れる保健活動や医療サービスの充実をはかることが重要です。

また、医療供給体制は、救急（休日、夜間）医療の整備や診療体制の充実など、関係機関の協力により年々整備されてはいるものの十分なものとはいえないものがあります。

したがって、高齢者の医療には緊急性が要求されています。これに対応した医療供給体制のより一層の整備拡充が重要です。市立総合病院の医療体制については、高度な医療の整備をはかるとともに、地域医療の中核病院として総合的な医療施設の整備をする必要があります。

・敬老精神の高揚  
高齢者を大切にする地域づくり、家庭でのしつけや幼児

期からの教育の充実をはかり、地域との交流を促進することにより敬老精神の高揚に努め高齢者を大切にし、高齢者が心豊かに暮らせる地域社会づくりが必要であります。

### ・住みよい生活環境の整備

高齢化社会での生活環境をはじめ住宅などは、高齢者の快適な生活に十分配慮されているとはいえない状況にあります。高齢者が各世代とともに暮らし、やすらぎとるおいのある生活が送れる住宅、ひとり暮らしや障害をもって高齢者がケアサービスを受けながら生活することができ住宅などを整備する必要があります。

ことが望ましく、これらの生活基盤施設の整備を早急に促進することが必要であります。また、車社会の発達により、高齢者の交通事故による被害者、加害者の増加するものと懸念される中、安全で住みよい高齢化社会を促進していくために、関係行政機関及び交通関係機関、団体との密接な連携をはかっていくことが重要となります。また、高齢者などを犯罪による被害や災害から保護するため、行政はもとより関係団体、地域住民の協力的体制の確立をはかることが必要であります。

### ②生きがい対策

#### ・社会参加活動の促進

今日、高齢者が地域活動や高齢者団体などにおいて果たしている役割はおおきいもの、高齢化社会の進行に伴い、求められている社会的役割を担うためには、質量ともにまだ十分とはいえない現状にあります。このため、多くの高齢者が自らの役割を見出し、積極的に社会とのかかわりを求めようとする意欲の高揚をはかるとともに、高齢者が気軽に参加できる機会や場の設定に努める必要があります。

## 人口及び老年人口の推移と将来推計

人口に占める老年人口比率(%)

国 ■■■■ 市 ■■■■

